

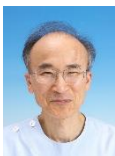
## 尾西記念病院の沿革

- 平成21年 4月1日 尾西市民病院より民間移譲を受ける  
社会医療法人杏嶺会尾西記念病院 開院  
病院長：藤井滋樹  
診療科：内科、心療内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科  
耳鼻咽喉科、眼科、リハビリテーション科、皮膚科、泌尿器科（11科）  
病棟：2階病棟 一般病棟15対1（51床）  
3階病棟 療養病棟（41床） 計92床
- 平成21年 7月1日 3階病棟を療養病棟から回復期リハビリテーション病棟入院料2へ転換  
回復期リハビリテーション病棟を開設
- 平成22年 1月1日 3階病棟 回復期リハビリテーション病棟入院料2から入院料1へ
- 平成22年 6月1日 4階病棟に通所リハビリテーションを開設
- 平成22年 7月 売店を設置
- 平成23年 4月1日 5階病棟 一般病棟15対1（30床）をオープン  
2階病棟（44床）、3階病棟（41床）、5階病棟（30床） 計115床
- 平成23年 5月1日 5階病棟を一般病棟から回復期リハビリテーション病棟入院料2に転換
- 平成23年11月1日 5階病棟 回復期リハビリテーション病棟入院料1を取得
- 平成24年 1月 院長交代 病院長：多羅尾信  
手術室を稼働
- 平成24年 4月1日 2階病棟 一般病棟入院基本料13対1に転換
- 平成25年 4月1日 4階病棟 回復期リハビリテーション病棟入院料1（22床）オープン  
5階病棟を回復期リハビリテーション病棟入院料1（27床）に変更  
2階病棟（44床）、3階病棟（41床）、4階病棟（25床）5階病棟（27床）  
計137床  
通所リハビリテーションは1階へ移転
- 平成26年10月 2階病棟 一般病床44床のうち12床を地域包括病床に転換  
一般32床、地域包括12床  
オーダーリングシステム導入開始
- 平成29年 7月 通所リハビリテーション第2訓練室を増設
- 平成29年12月1日 2階病棟 地域包括（12床）を一般病床に転換 2階病棟（44床）
- 令和 3年 7月1日 2階病棟 一般病棟入院基本料10対1に転換

## 尾西記念病院通信



## 院長からの ごあいさつ



長年にわたり尾西地区の医療を担っていた尾西市民病院が、諸事情のため社会医療法人杏嶺会への民間委譲が行われ、平成21年4月1日より尾西記念病院として新たに開院しました。(初代院長 藤井滋樹先生)当初は92床でしたが、増床を重ね平成25年4月に現在の137床となりました。裏面の尾西記念病院の沿革に記載したように、色々の事を行い病院の活性化に努力して、地域の皆様に愛される病院となっていました。しかし、当院で現在使用中の建物は大部分が昭和35年に建設され、建築後65年を経過しており耐震構造ではありません。現病院が耐震工事を行うと高額となり、新築したほうが安くなります。そこで数年以内に発生すると言われる巨大地震が発生する前に移転する事を決断しました。開明地区の一宮西病院の南隣地に現在400病床規模の病棟を建設中で、近日中に完成します。本年6月30日ごろに当院を閉院して、そこに移転します。14年間 尾西地区の皆様にお世話になり有難うございました。令和5年3月31日で外来診療を終了し、入院診療も本年6月30日で終了します。閉院により色々とお迷惑・不自由をおかけする事を申し訳なく思っております。W 今後は地域のクリニックの先生の方々に一次医療を行っていただき、必要な場合に一宮西病院を紹介していただくと幸いです。以上 宜しく御理解を願います。

令和5年3月末日  
尾西記念病院  
院長 多羅尾 信

来る3月31日をもって外来診療を終了、6月30日には尾西記念病院を閉院する事になりました。平成21年4月に尾西市民病院が尾西記念病院になり、地域の中で診療を行ってきました。14年の間には看護部は病院が開催したクリスマス会に参加し、歌や踊りを披露しました。外来の患者様や入院中の患者様に楽しんでいただけたことと思います。もちろん私たちも楽しませてくれました。病棟においては、2病棟から4病棟に増やし、それに伴いそれぞれの職種のスタッフも増員されました。そんな中で外来や病棟の患者様よりお褒めの言葉やお叱りの言葉をいただきました。その言葉を基に看護を振り返り、患者様、家族様のご協力をいただき生き活きとした看護を行うことができました。皆様よりいただいた言葉を看護師一人一人が心に持ち、今後の看護に活かしていきたいと思っております。この14年間本当にありがとうございました。外来がなくなること、病院がなくなことは、大変寂しく残念に思いますが、今以上に大きくなって充実した一宮西病院を今後とも宜しく願います。

看護部 副看護部長  
栗本 基己



当院は平成21年4月の開設以来、地域に貢献できる医療機関となるべく医療サービスの提供を行ってまいりましたが、諸説の事情により令和5年3月31日をもって外来リハビリを終了、6月30日には尾西記念病院を閉院することになりました。

これまでご愛顧頂いた地域の皆様には心より感謝申し上げます。私の一番の思い出は、毎週水曜日から朝8:45から1階ロビーで開催した『朝の健康体操』です。当初は10名程度でしたが、徐々に増えて多い時には120名の方にご参加いただきました。ここまで大きなイベントになるとは思いもよらなかった。毎週参加して頂く方も多く、雨の日も雪の日もご参加いただきました。地域の皆様と顔なじみとなり、一緒になって笑顔に運動できることが私自身の楽しみでもありました。長く続けることが出来たのも、一重に皆様のお蔭と感謝いたします。本当にありがとうございました。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

リハビリテーション科  
科長 北村 正彦

長年にわたり、尾西記念通信で栄養に関する記事を書かせていただきました。毎号読んでくださる方、気になった記事があった時に読んでくださる方、様々いらっしゃったかとは思いますが、皆様の健康に少しでもお役に立てることができたなら、とてもうれしく思います。今まで50以上の栄養コラムを書かせていただき、今回で最後となりますが、「管理栄養士から最後に皆様に伝えたいこと…それは「医食同源」という言葉です。

何度も目にしたり聞いたりの言葉ではあるかとは思いますが、「医食同源」は文字の通り、病気を治す薬と食べ物は、本来根源を同じくするものであるということ。食事に注意することが病気を予防する最善の策であり、また日ごろの食生活も医療に通じるという古くからの考えです。沖縄地方では食事の後に「ごちそうさま」ではなく「くすいなたん」と言うこともあります。「くすいなたん」とは「薬になりました」という意味で、美味しくして元気になりましたという思いが込められているそうです。日々の生活の中で、「医食同源」を心にとめて食事されている方はどのくらいいらっしゃるでしょうか？人の身体は、食べたり飲んだりした物からできています。今日摂取した物が未来の自分を作っているのです。砂糖たっぷりのお菓子や脂っこい食事を食べ過ぎることは、良くないことだというのは誰でも分かっているとは思いますが、それでもやめられないという方は、「医食同源」という言葉を思い出してみてください。そして、ぜひ毎日の食事を楽しんでください。一人だとしても、自分の為に選んだ食材、選んだ食器に盛り付けて、じっくり味わえばきっと楽しい食事となります。そんな時間なんてないよと忙しさにかまけて食事をおろそかにした結果、自分の健康を失ってしまったら本当に残念な事です。何をしても元気な体があったこそです。これからも皆さんの健康を心より願っております。最後になりましたが、尾西記念病院通信で記事を投稿するにあたり、私自身もいろいろな事を調べたり勉強する機会を与えていただきました。拙い文章で、読みづらい部分もあったかとは思いますが、今まで本当にありがとうございました。

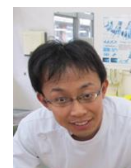
栄養科 管理栄養士  
林 綾子



尾西記念病院開設当初から約14年間マッサージ師として働かせていただきましたリハビリテーション科の伊藤です。数年前に3年間程ですが健康コラムを書かせてもらいました。これまで多くの患者様にきていただき本当にありがとうございました。この病院で働いてこれたのも、患者様や病院スタッフの皆様のおかげだと思っています。

最後に私からのアドバイスになりますが、健康な生活を得るためには食事や運動など様々な方法があります。小さいこと(例えば散歩5分など)から楽しめる範囲で出来るだけ継続しましょう。完璧を目指す必要は全くなく、楽しみながらコツコツと続ける事が大切です。閉院に伴い、今まで通ってくださった患者様に会えなくなるのは本当にさみしいですが新たな職場でも頑張ろうと思っております。今後一宮西病院をはじめとした杏嶺会をよろしく願います。

リハビリテーション科  
伊藤 章義



あしあと ！ 未来へ

患者様、スタッフの皆さんに支えられ、今日の尾西記念病院があります。この14年を振り返ってみると様々な思い出でいっぱいです。病院スタッフ一同感謝申し上げます。